

平成29年九州北部豪雨歯科支援報告会 ～徹底検証:熊本地震の教訓は、活かされたのか?～

日時 : 平成30年2月25日(日)
15:00～17:00 (開場14:30)

会場 : 熊本県歯科医師会館 3階研修室

〒860-0863 熊本県熊本市中央区坪井2-4-15・TEL 096-343-8020

対象 : 興味のある方どなたでも

参加
無料

申込
不要

昨年7月5日に発生した平成29年九州北部豪雨災害の対応について、福岡県歯科医師会災害歯科コーディネーターとしてご報告致します。

平成28年度の九州歯科医学大会(福岡)と日歯災害歯科コーディネーター研修会(熊本)において、熊本県歯科コーディネーターであった牛島常務理事(当時)は、「熊本地震の歯科支援活動の課題」として、下記等をあげられていました。これら以外にも、九州地区連合歯科医師会(九地連)の熊本地震メール協議会において多数の課題が浮き彫りになりました。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ①行政の混乱による情報不足 | ④県外派遣チームの宿泊施設確保 |
| ②歯科コーディネーターの役割 | ⑤職種間の連携不足 |
| ③県行政歯科医療職の災害時の配置や特命 | ⑥医療と保健の同時進行 |

九州北部豪雨に対し、福岡県歯はどうか対応したのか?その際に、熊本地震に対する九地連幹事県としての経験は活かされたのか?また熊本県歯や九地連メール協議会から報告された課題を教訓として活かされたのか?などを時系列に沿ってご報告致します。

講師

太田 秀人



福岡県歯科医師会 会員
筑紫歯科医師会 医療管理担当理事

熊本県歯科医師会より多数の支援物資(口腔衛生商品)をご送付いただき、誠にありがとうございました

1993年長崎大学歯学部卒業, 2009年福岡県太宰府市にて「おおた歯科クリニック」開業, 2011年東日本大震災時に宮城県南三陸町へ派遣(5月15日～22日, 第6班メンバー), 2016年熊本地震時に熊本県南阿蘇村へ派遣(4月23日～5月1日, 第1班リーダー), 以降も断続的に派遣(現地支援コーディネーター), 2017年九州北部豪雨時に福岡県朝倉市・東峰村へ派遣(4月14日～17日, アセスメント隊リーダーおよび福岡県歯災害歯科コーディネーター), 以降も断続的に派遣

お問い合わせ: 中久木康一(日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人) nakakuki@biglobe.jp

主催: 日本災害時公衆衛生歯科研究会

共催: (一社)熊本県歯科医師会, 女川歯科保健チーム

被災×社会的弱者 ～最も被災しやすく, 最も避難しにくいひとびと～